

# 診療局：内科《総合内科・感染症内科》

## —スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長 兼院内感染対策室長兼産業医	倭 正也
膠原病内科部長 兼リウマチセンター長	入交 重雄
医長兼国際診療科医長	名倉 功二
医 長	葛城 有希子
医 員	岩井 優美(12月退職)
医 員	山本 雄大

## 総合内科・感染症内科

### —概要—

現在の医療は高度の専門化が進んでいる一方で、様々な病気を併せ持つ患者に対して「全人的医療」を行うことのできる医師が少なくなっている。そこで当院では2013年4月より総合内科・感染症内科を新たに立ち上げ、診断のついていない症状ではじめて当院を受診され、どの専門科を受診すればよいかわかりにくい患者に対して、専門分野を横断的に診療する幅広い総合診療を行っている。さらにその際に感染症および膠原病の診療を行う機会も多く、これも当科にて診療を行っている。

具体的には、一般内科疾患全般(内科救急疾患を含む)をはじめ原因不明の持続する発熱(不明熱)、関節痛などといった症状を持たれた患者の外来、入院診療を行っている。またその際に、高度な専門医療を要する場合には適切な各専門科に紹介させていただいている。さらに、当科以外の各専門科において入院治療を要する患者に対しても、専門科と良好なコミュニケーションを保ち、多角的に相互補完するバランスのとれたチーム医療を実践し、患者の全身管理のサポートを行っている。

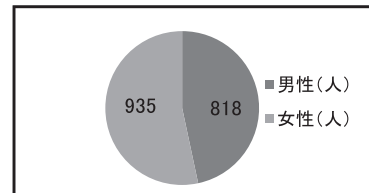
また、輸入感染症の診療も当科の重要な任務の1つである。特に当院は、厚生労働大臣指定の我が国で4か所の特定感染症指定医療機関の1つであり、西日本では唯一である。当科にて感染症センターに入院された患者の診療を行っている。

2013年4月、りんくう総合医療センターと泉州救命救急センターがひとつの病院として統合した。救命救急センターとの相互連携を深め、救急医療を含む総合診療と高度な専門医療とが多角的に相互補完する、これからの地域医療を支える新たな診療体系の構築を目標に、総合診療の強化を目指している。

## —実績—

### ◆外来初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	73	63	70	84	73	86	69	50	59	77	72	39	815
女性	76	82	73	89	80	96	85	75	80	80	79	38	933
合計	149	145	143	173	153	182	154	125	139	157	151	77	1,748

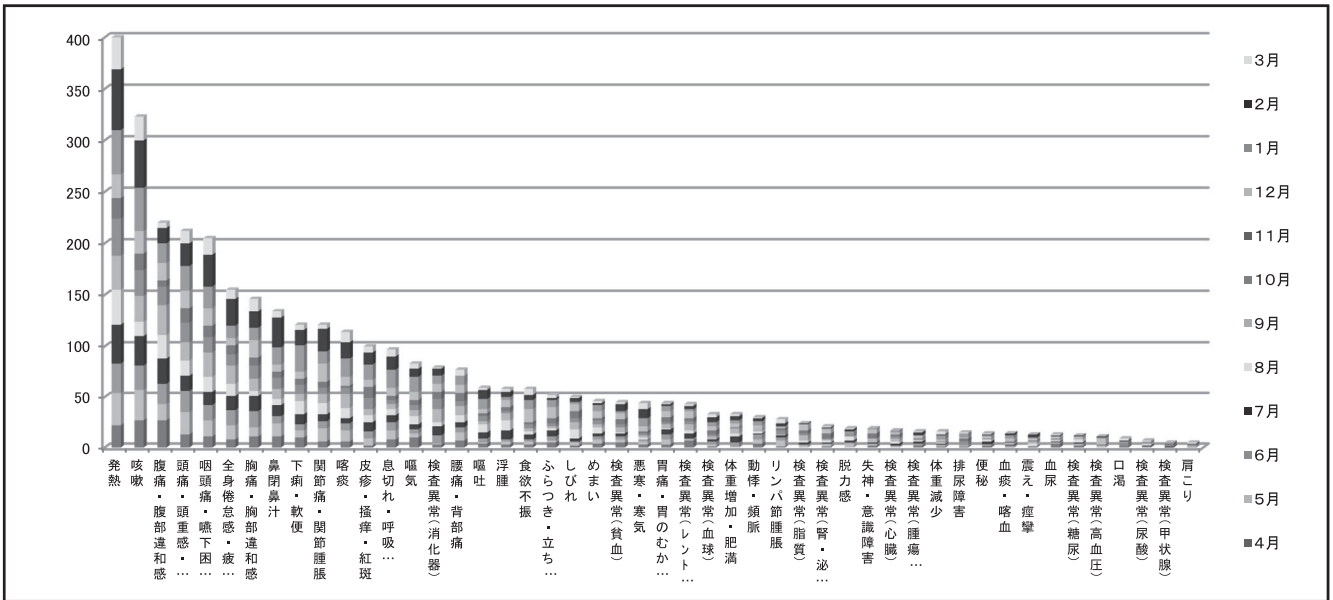


### ◆入院患者数

新入院患者数													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
8	10	5	8	7	7	8	6	11	6	11	25	112	

延べ入院患者数													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
323	302	289	253	435	382	379	311	334	375	357	422	4,162	

初診時主訴数一覧													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
発熱	22	32	29	38	34	33	36	20	23	43	59	31	400
咳嗽	27	30	24	29	14	25	25	16	22	42	46	23	323
喀痰	6	11	7	5	10	14	6	2	9	18	16	10	114
頭痛・頭重感・頭の違和感	13	22	21	15	15	18	19	14	17	24	22	12	212
咽頭痛・嚥下困難・咽頭違和感	11	16	15	13	15	24	15	11	17	21	31	16	205
鼻閉鼻汁	11	13	7	11	6	10	11	6	7	17	29	6	134
血痰・咯血	0	0	2	1	1	0	1	1	3	3	2	0	14
嗄声	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
耳鳴り	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4
食欲不振	3	3	2	5	3	3	4	2	13	9	5	6	58
動悸・頻脈	4	4	5	1	2	3	0	0	3	4	3	1	30
息切れ・呼吸苦・呼吸困難	8	9	8	7	6	5	4	4	8	18	13	7	97
口渇	2	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	2	9
皮疹・掻痒・紅斑	2	7	7	9	7	6	11	11	7	15	12	6	100
めまい	4	4	3	3	6	3	4	2	7	6	2	2	46
ふらつき・立ちくらみ	5	2	4	6	2	2	3	5	11	7	2	3	52
浮腫	3	3	2	9	10	7	2	4	7	3	5	3	58
全身倦怠感・疲労感	8	14	15	14	12	18	11	9	7	12	26	9	155
嘔気	10	4	4	5	8	6	5	5	8	15	8	5	83
嘔吐	4	1	4	6	8	3	5	3	4	10	9	2	59
下痢・軟便	10	7	6	10	13	7	9	6	7	26	15	5	121
便秘	2	1	0	3	2	0	1	0	2	1	1	1	14
血尿	4	1	0	1	1	1	1	0	2	0	1	1	13
排尿障害	1	1	1	0	0	0	3	3	1	4	0	1	15
しびれ	2	3	1	3	9	7	4	7	7	2	4	1	50
失神・意識障害	2	1	1	1	0	4	0	5	4	1	0	0	19
震え・痙攣	1	1	0	0	2	2	0	1	2	1	3	0	13
脱力感	0	4	1	2	4	0	2	0	0	3	2	1	19
体重増加・肥満	0	1	4	6	3	5	0	1	4	3	4	2	33
体重減少	1	1	1	1	1	0	1	0	2	4	1	3	16
肩こり	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5
悪寒・寒気	3	3	2	0	2	2	2	2	5	8	9	6	44
腹痛・腹部違和感	27	16	20	25	23	29	18	6	17	19	15	5	220
胸痛・胸部違和感	11	9	16	15	5	12	13	8	17	12	16	12	146
腰痛・背部痛	7	8	5	5	7	9	5	8	8	9	0	6	77
関節痛・関節腫脹	6	13	7	7	11	9	6	6	18	12	22	4	121
胃痛・胃のむかつき不快感	3	5	5	5	1	4	2	5	6	5	2	1	44
リンパ節腫脹	1	6	3	2	0	1	4	2	1	1	3	4	28
検査異常(消化器)	3	1	8	9	4	13	10	7	8	8	7	1	79
検査異常(腎・泌尿)	1	2	1	1	2	1	1	5	4	1	1	1	21
検査異常(心臓)	0	1	1	2	2	3	2	2	2	2	0	0	17
検査異常(高血圧)	0	0	0	0	0	2	0	1	6	1	1	0	11
検査異常(甲状腺)	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	5
検査異常(糖尿)	2	1	1	1	3	3	0	0	0	1	0	0	12
検査異常(脂質)	0	2	1	2	2	5	2	3	6	0	1	0	24
検査異常(尿酸)	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	1	7
検査異常(血球)	1	2	3	2	0	3	2	4	4	4	5	3	33
検査異常(貧血)	5	3	3	3	1	5	3	5	6	2	7	2	45
検査異常(腫瘍マーカー)	2	0	2	2	1	1	0	1	3	0	3	1	16
検査異常(レントゲン)	7	1	1	5	3	6	3	3	7	2	3	2	43



A 循環器系		C 消化器系		D 腎泌尿器系		G 筋骨格系		L 癌・腫瘍		N 感染症		O 皮膚	
高血圧症	12	大腸ポリープ	8	尿路結石	2	肋間神経痛	3	肺癌	8	感冒・上気道炎	98	口唇ヘルペス	2
心不全	9	胃潰瘍	6	腎結石	1	圧迫骨折	2	肝臓癌	1	咽頭炎	12	ヘルペス口角炎	1
陳旧性心筋梗塞	1	痔核	4	ネフローゼ症候群	3	脊柱管狭窄症	1	大腸癌	5	急性副鼻腔炎	4	尋麻疹	1
動脈硬化症	1	アルコール性肝障害	4	腎機能低下	4	肋骨骨折	1	乳癌	1	インフルエンザ	19	帯状疱疹後神経痛	1
深部静脈血栓症	5	胆石症	2	糖尿病性腎症	1	痛風関節炎	1	頸部原発不明癌	1	A型	9	尋常性乾癬	1
心房細動	7	胃ポリープ	7	慢性腎不全	4	足関節炎	1	B型	9	B型	9	掌蹠膿疱症	1
洞性頻脈	1	小腸炎	1	急性腎障害	1	腰椎すべり症	2	膀胱癌	1	扁桃炎	11	起立性調節障害	1
期外収縮	2	憩室炎	3	尿路感染症 (腎盂腎炎・膀胱炎)	44	H 内分泌・代謝系		盲腸癌	1	肺炎	86	熱中症	5
肺塞栓症	1	ピロリ菌感染症	4	片頭痛	2	甲状腺機能亢進症	2	咽頭腫瘍	1	顔面性肺炎	3	脱水症	1
大動脈解離	1	逆流性食道炎	12	緊張性頭痛	2	糖代謝異常	1	卵巣腫瘍	1	マイコプラズマ肺炎	2	脱臼	1
下肢静脈瘤	1	胆嚢炎	2	脳動脈瘤	2	糖尿病	10	癌	1	間質性肺炎	1	鼠径ヘルニア	3
大動脈拡張	1	膵炎	2	脳梗塞	2	痛風	2	縦隔腫瘍	1	肺炎球菌肺炎	1	臍ヘルニア	1
碑動脈瘤	1	肝腫瘍	1	ラクナ梗塞	2	脂質異常症	20	腎癌	3	インフルエンザ	3	中耳炎	1
大動脈弁狭窄症	1	胃炎	35	脳腫瘍	2	高尿酸血症	4	甲状腺癌	1	モロクセラ肺炎	1	脂肪腫	2
大動脈弁狭窄症	1	急性胃炎	1	ラウナ梗塞	2	原発性アルドステロン症	2	甲状腺腫	4	ウイルス感染症疑い	35	好酸球性浮腫	1
B 呼吸器系		慢性胃炎・萎縮性胃炎	29	髄膜腫	1	原発性甲狀腺機能低下症	1	胃粘膜下腫瘍	2	伝染性単核球症	8	本態性振戦	1
気管支炎	13	食道裂孔ヘルニア	5	対麻痺	1	橋本病(慢性甲状腺炎)	2	帯状疱疹	8	帯状疱疹	8	リンパ浮腫	1
咳嗽	50	食道カンジダ症	1	破綻出血	1	亜急性甲状腺炎	1	梅毒	5	梅毒	5	末梢性めまい	1
喘息	13	虫垂炎	5	脳出血	2	I 精神疾患		蜂窩織炎	22	急性胃腸炎	49	粉瘤	3
肺気腫	1	便秘症	4	神経麻痺	1	過換気症候群	1	貧血	32	急性胃腸炎	49	腹壁癬痕ヘルニア	1
気管支拡張症	1	過敏性腸症候群	1	神経調節失神	1	うつ	1	鉄欠乏性貧血	20	カンビロバクター肺炎	2	低カリウム血症	2
急性鼻炎	1	脂肪肝	18	頸動脈狭窄	1	不安神経症	1	大球性貧血	2	腎性貧血	2	アメーバ大腸炎	1
気胸	4	肝血管腫	2	一過性健忘	1	J アレルギー		悪性リンパ腫	1	悪性リンパ腫	1	サルモネラ肺炎	1
肺化膿症	1	回腸末端炎	1	小脳梗塞	1	薬剤副作用	1	リンパ節炎	5	溶連菌感染症	7	溶連菌感染症	7
肺アスペルギルス症	1	原発性胆汁性胆管炎	1	F 膠原病・自己免疫		薬剤性皮膚疹	2	骨髄異形成症候群	1	サルモネラ菌感染症	7	サルモネラ菌感染症	7
アレルギー性咳嗽	1	慢性肝炎	2	リウマチ性多発筋痛症	4	造影剤アレルギー	1	急性白血病	1	菌血症	11	菌血症	11
好酸球性肺炎	2	パレット食道	5	関節リウマチ	3	薬剤アレルギー	1	急性白血病	1	渡航者下痢症	7	渡航者下痢症	7
非結核性抗酸菌症	2	肝硬変	1	眼局性皮膚硬化型 全身性強皮症	1	子宮留腫瘍	1	急性白血病	1	ウイルス性髄膜炎	3	ウイルス性髄膜炎	3
慢性閉塞性肺疾患	1	サブウイルス	3	ANCA関連血管炎	2	卵巣成熟奇形腫	1	ホジキンリンパ腫	1	陳旧性肺結核	1	陳旧性肺結核	1
		虚血性大腸炎	1	高尿酸血症	1	子宮筋腫	3			伝染性紅斑	3	伝染性紅斑	3
		総胆管結石	1	多発性肺炎	1	子宮内膜症	1			ウイルス性角膜炎	1	ウイルス性角膜炎	1
		非特異的大腸炎	1	IgG4 関連疾患	1	乳腺症	1			化膿性脊椎炎	2	化膿性脊椎炎	2
		機能性ディスベシア	1	RS3PE 症候群	1					結節性紅斑	2	結節性紅斑	2
		肝嚢胞	1	皮膚筋炎	1					膿胸	2	膿胸	2
		胆管炎	1	側頭動脈炎	1					急性巣状性細菌性腎炎	3	急性巣状性細菌性腎炎	3
		薬剤性肝障害	2							手足口病	1	手足口病	1
		直腸炎	1							G群溶連菌感染症	1	G群溶連菌感染症	1
		マロリーワイス症候群	1							肺炎	1	肺炎	1
		肝性脳症	1							赤痢	2	赤痢	2
										軟部組織感染症	2	軟部組織感染症	2
										結核性リンパ節炎	1	結核性リンパ節炎	1
										ヒトニューモウイルス感染症	1	ヒトニューモウイルス感染症	1
										針刺し	1	針刺し	1
										虫刺症	1	虫刺症	1
										結核性心膜炎	1	結核性心膜炎	1
										胸膜炎	3	胸膜炎	3

※尿路感染症はD腎泌尿器系

## —今年度の成果と反省点—

他診療科からの特に感染症診療についてのコンサルト件数の増加が認められた。当科医師はICT(Infection Control Team)およびAST(Antimicrobial Stewardship Team)活動を担っており、その活動については院内感染対策室の項に記載した。ICU/CCU入室の重症患者についても、主科の医師と協議し抗菌薬などの治療について検討するなど抗菌薬の適正使用の周知、徹底に努め、不適切使用はほとんど認められていない。

## —来年度への抱負—

地域からご紹介などの診断困難症例、不明熱、重症感染症患者の治療にさらに尽力していきたい。また、他診療科とのさらなるコミュニケーションを図り、感染症診療においては今後も引き続き抗菌薬の適正使用に努めたい。

さらに、講演、学会発表、学術論文の作成など研究活動に一層力を入れていきたい。